

## 令和3年度会計 決算報告

(自: 令和3年4月1日～至: 令和4年3月31日)

### 《収入の部》

(単位: 円)

科目	令和2年度決算額	令和3年度決算額	増 減	備 考
会員会費	5,400,000	4,853,000	▲ 547,000	関信支部4,000円×695名 本部3,000円×691名
広告収入	0	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
学会協賛収入	0	280,000	280,000	協賛社数(20,000円×14社)
支部学会、研修会参加費収入	0	0	0	
雑収入	54,038	49	▲ 53,989	受け取り利子
前年度繰越金	3,119,329	4,212,201	1,092,872	
合計	8,573,367	9,665,250	1,091,883	

### 《支出の部》

(単位: 円)

科目 / 項目	令和2年度決算額	令和3年度決算額	増 減	備 考
本部会費	2,692,000	2,073,000	▲ 619,000	3,000円×690名 および北海道支部への異動者1名
事務費	344,114	178,054	▲ 166,060	
通信費	159,676	146,710	▲ 12,966	インターネット利用料(HP)・郵送費・切手等
消耗品費	180,038	24,654	▲ 155,384	封筒、会員証用カード、ラベルシール、USB会議用マイク
手数料	4,400	6,690	2,290	振り込み手数料、硬貨料金
会議費	231,712	297,764	66,052	
常任理事会・部会	178,548	276,468	97,920	会員証作成、監査
地区代表者会議	53,164	19,416	▲ 33,748	
諸会議費	0	1,880	1,880	本部理事会
広報費	580,800	762,300	181,500	
ニュース印刷費	580,800	762,300	181,500	支部ニュース
研修会費	70,000	568,862	498,862	
講師料・会場費	70,000	567,154	497,154	株式会社ブイキューブ Zoom年間契約料、研修会・症例検討会講師料
行動費	0	1,708	1,708	
地区会等関係費	0	6,500	6,500	
行動費	0	6,500	6,500	定期総会出席
地区会活動助成金	0	0	0	
学会運営費	135,233	1,122,889	987,656	
事務費	112,236	1,049,229	936,993	抄録集発行代、配信サポート(ブイキューブ)、支部表彰記念品等
謝礼等	0	35,530	35,530	クオカード
行動費	22,997	38,130	15,133	リハーサル、当日行動費、前泊宿泊費、学会賞選考委員会
予備費	307,307	0	▲ 307,307	
合計	4,361,166	5,009,369	648,203	

増減＝令和3年度決算額－令和2年度決算額

収入額	支出額	次年度繰越金
9,665,250	- 5,009,369	= 4,655,881

令和4年4月10日

国立病院臨床検査技師協会  
関信支部 支部長  
吉田 茂久 殿

## 令和3年度 監査報告書

私たちは、国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第17条の規約に基づき、令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動並びに会計の監査を行ったので、次のとおり報告致します。

### 1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

### 2. 監査結果

#### 【令和3年度会務】

#### 1) 事務局について

##### (1) 組織の充実・関係協議会等との連携

各地区会定期総会・研修会へ支部長等役員が積極的に参加し、「関信支部からのお知らせ」を中心に情報伝達及び収集を行っていました。また、常任理事会への NHO 関東信越グループ臨床検査専門職の出席を賜り、情報の共有化を図っていました。更に、新たに契約した Web 会議ツール (Zoom ウェビナー) を用いて関連協議会、地区会、会員からの要望事項などに迅速に対応し、連携を保っていました。国臨協本部に対しては全国支部長会議にて、支部より議題 (会員調査) の提出を行っていました。

##### (2) 事務管理の向上

主に Web で三役会・常任理事会及び各部臨時会議が開催されました。会務遂行については事務局、学術、広報においてリーダー理事を選出し、三役と臨時会議を行うなど最適化を図っていました。また、会員の情報は会員調査及び人事異動通知書等から収集し、支部ニュースを用いて定期的な情報提供を行っていました。

##### (3) 文化活動

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、昨年度に続き合同交流会・ビアパーティー等の行事が中止となりました。

#### 2) 学術について

##### (1) 国臨協関信支部学会の開催

第49回関信支部学会は「挑戦～臨床検査に今できること～」をテーマに23の一般演題発表及び学会企画「学術委員会による分科会」について、Web 会議ツールでのライブ配信が行われました。また、新たな試みであった特設サイトでの地区会・新人紹介コーナーは概ね好評で、会員間の貴重な情報交換の場となっていました。

(2) 学術・技術の振興

人材育成に力点を置いた研修会「医療倫理、国立病院機構倫理行動基準について」をオンデマンド配信にて開催されました。導入した Web 会議ツールは各地区会定期総会・研修会、関信支部学会等においても有効活用されていました。

(3) 研修会の充実

3回の研修会はオンデマンド配信、昨年度中止となった症例検討会もライブ配信により開催されました。

(4) その他

NHO 関東信越グループ及び地区会研修会への講師派遣やサポートを多数行っていました。

3) 広報について

(1) 国臨協関信支部ニュース

紙媒体 4 回、PDF 版(人事異動)として 1 回発行されました。昨年度から開始した「集まれ若手技師～How about your work～」, 「Case study」など若い職員向けの記事も継続して掲載されていました。

(2) 関信支部ホームページ

支部学会や研修会がインターネットを利用して開催する形となり、昨年度に比べてアクセス数が増加していました。社会が急速にデジタル化している現在、更なる充実をお願いしたい。

4) その他

(1) 第 50 回国臨協関信支部定期総会について

電磁的表決とすることが決定されました。

(2) 次年度以降の会務活動について

Web 会議ツールを取り入れ、活動及び理事の会務内容も変化しております。理事が過度な負担を負うことのないよう、状況に合わせた会務の遂行をお願いしたい。

以上、令和 3 年度の会務内容は適正であり、理事の会務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。

【令和 3 年度会計】

令和 3 年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和 3 年度会計報告は、関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和 4 年 4 月 10 日

監事： 山崎正明 

監事： 瀬下明子 

令和4年度 会計予算(案)  
(自:令和4年4月1日～ 至:令和5年3月31日)

《収入の部》

(単位:円)

科目	令和3年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額	備考
会費	4,853,000	4,690,000	4,816,000	7,000円×688名
広告収入	320,000	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
学会協賛収入	280,000	320,000	320,000	広告掲載社数(20,000円×16社)
支部学会、研修会参加費収入	0	900,000	0	支部学会会場整備費、研修会
雑収入	49	38	49	受け取り利息等
前年度繰越金	4,212,201	4,212,201	4,655,881	
合計	9,665,250	10,442,239	10,111,930	

《支出の部》

(単位:円)

科目 / 項目	令和3年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額	備考
本部会費	2,073,000	2,010,000	2,064,000	3,000円×688名
事務費	178,054	470,000	380,000	
通信費	146,710	160,000	160,000	ホームページ利用料、モバイル通信料、切手、宅配便
消耗品費	24,654	300,000	200,000	事務用品費(封筒、インク、紙、ラベル)
手数料	6,690	10,000	20,000	振込み手数料、硬貨料金
会議費	297,764	1,180,000	910,000	
常任理事会・部会	276,468	1,000,000	780,000	常任理事会12回、学術委員会会議・行動費、監査等
地区代表者会議	19,416	80,000	80,000	年1回開催
諸会議費	1,880	100,000	50,000	本部理事会等、定期総会(第50回電磁評決)
広報費	762,300	770,000	770,000	
ニュース印刷費	762,300	770,000	770,000	総会議案集、支部ニュース発行(年4回)・送料
研修会費	568,862	650,000	650,000	
講師料・会場費	567,154	600,000	600,000	支部主催研修会、講師料・会場費等
行動費	1,708	50,000	50,000	支部主催研修会等 講師交通費、日臨技生涯学習申請
地区会等関係費	6,500	400,000	250,000	
行動費	6,500	250,000	100,000	各地区役員出席、学術委員講師派遣
地区会活動補助金	0	150,000	150,000	地区会研修会講師料補助
学会運営費	1,122,889	1,800,000	2,300,000	
事務費	1,049,229	1,300,000	2,000,000	学会抄録集作成、会場費、システム委託費、備品等
謝礼等	35,530	200,000	200,000	講師料、来賓謝礼
行動費	38,130	300,000	100,000	
予備費	0	3,162,239	2,787,930	
合計	5,009,369	10,442,239	10,111,930	

【 追加 】

Ⅷ. 第 3 号議案 国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約改正(案)

	現 行	改正 (案)	備考
(総会および会議) 第 15 条	3. 定期および臨時の総会は会員の 2 分の 1 以上の出席をもって開会とし、議案は出席者の過半数をもって決議する	3. 定期および臨時の総会は会員の 2 分の 1 以上の出席をもって開会とし、議案は出席者の過半数をもって決議する。 但し、やむを得ない理由により総会を開催できない場合は、書面若しくは電磁的記録などにより、議案を決議することができる。	追加
	4. やむを得ない理由により出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。この場合は、前条の規定について出席したものと見なす。	4. やむを得ない理由により出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的記録などをもって表決することができる。この場合は、前条の規定について出席したものと見なす。	追加
(雑 則) 附 則	この規約は、 平成 31 年 4 月 20 日 一部改正	この規約は、 令和 4 年 5 月 14 日 一部改正	追加

令和 4 年 4 月 22 日

国立病院臨床検査技師協会関信支部

会 員 各 位

国立病院臨床検査技師協会  
関信支部 役員推薦委員会  
委員長 竹内 智明  
委 員 沼田 ますみ  
委 員 山田 大助

### 令和 4 年度役員の推薦について

当会の役員推薦規程に則り、当会の令和 4 年度役員を下記案の通り推薦いたします。  
会員各位のご審議をお願いいたします。

#### 記

#### 1. 令和 4 年度 国立病院臨床検査技師協会関信支部役員（案）

支 部 長	吉田 茂久	（国立病院機構 横浜医療センター）	留任
副支部長	椎名 將昭	（国立病院機構 水戸医療センター）	留任
副支部長	齋藤 広樹	（国立病院機構 東長野病院）	新任
事務局長	梅戸 克之	（国立病院機構 信州上田医療センター）	留任
理 事	秋山 卓思	（国立病院機構 栃木医療センター）	新任
理 事	安中 未華	（国立病院機構 横浜医療センター）	新任
理 事	飯田 伊織	（国立病院機構 西埼玉中央病院）	新任
理 事	井田 貴明	（国立病院機構 相模原病院）	留任
理 事	市川 遼	（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院）	留任
理 事	鷹取 有紀	（国立病院機構 沼田病院）	新任
理 事	竹内 智也	（国立病院機構 東京医療センター）	留任
理 事	千木良 浩志	（国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院）	新任
理 事	中村 良幸	（国立病院機構 西新潟中央病院）	新任
理 事	山口 卓哉	（国立病院機構 東京病院）	新任
理 事	渡辺 順也	（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院）	新任
監 事	小沼 進吉	（国立病院機構 東埼玉病院）	新任
監 事	瀬下 明子	（国立病院機構 高崎総合医療センター）	留任

2. 令和 4 年度 国立病院臨床検査技師協会関信支部役員推薦委員（案）

役員推薦委員	沼田 ますみ（国立病院機構 小諸高原病院）	留任
役員推薦委員	山川 博史（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院）	新任
役員推薦委員	山田 大助（国立病院機構 神奈川病院）	留任

以上